

芝山町污水適正処理構想

平成 27 年度

千葉県芝山町

目 次

1. 構想見直しの趣旨	1
2. 構想見直しの手順	2
3. 基本事項の設定	3
4. 整備済み区域の確認	4
5. 未整備区域の整備手法・整備計画の検討	5
6. 芝山町污水適正処理構想	6

1. 構想見直しの趣旨

【汚水適正処理構想とは】

汚水適正処理構想とは、一般家庭、事業場等からの排水を処理する施設である公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽の整備予定区域及び整備計画を定めるもので、国及び千葉県の方針に基づき、概ね5年に1回程度の見直しを行っています。

芝山町では、平成20年度に「芝山町汚水適正処理構想」として策定しています。

今回は、以下に示す方針等に基づいた見直しを行い、作成したところです。

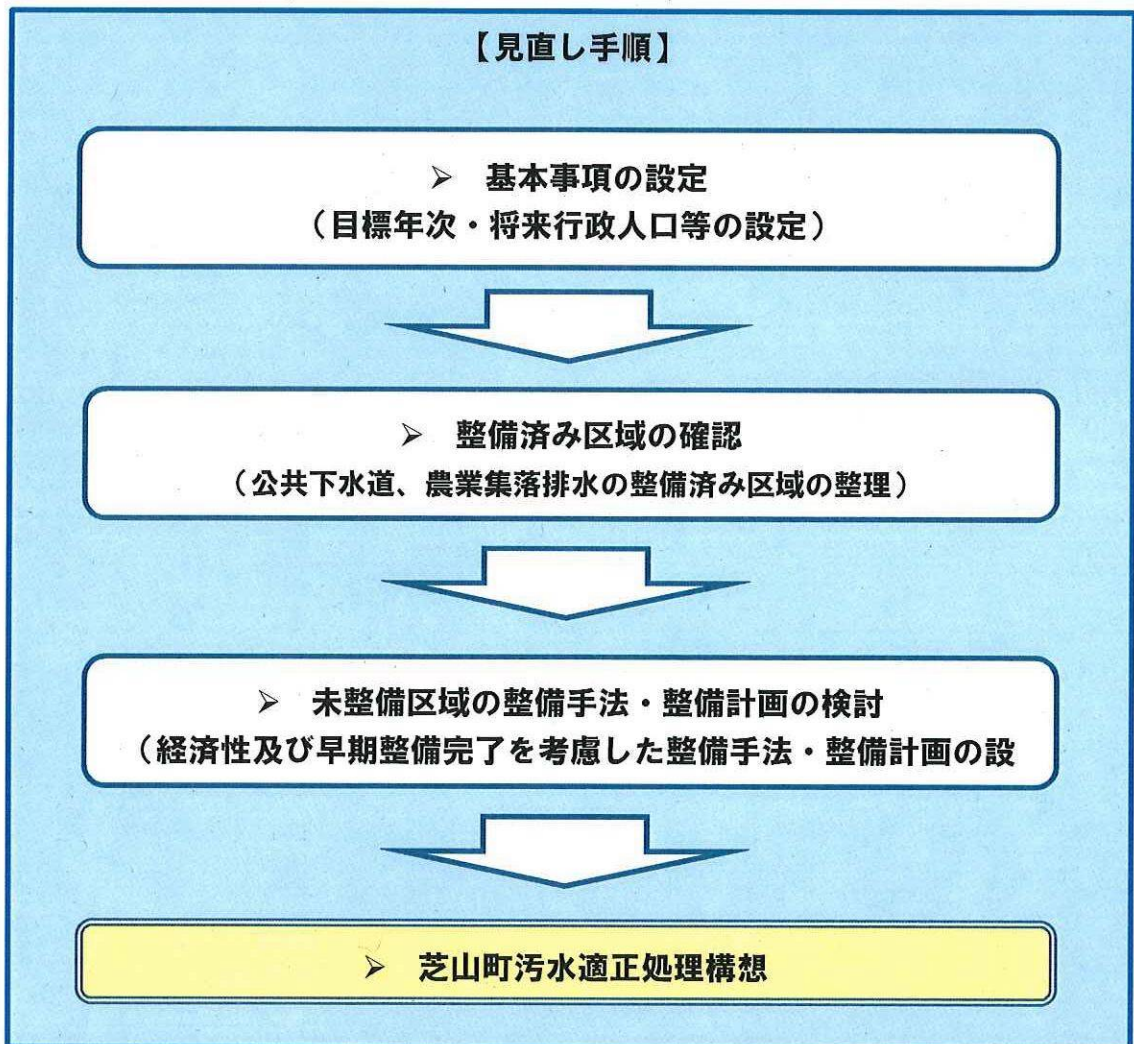
【構想見直し方針】

芝山町汚水適正処理構想の見直しは、国（国土交通省、農林水産省、環境省）が示す「持続的な污水处理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル 平成26年1月」及び、これを受けて千葉県が作成した「全県域汚水適正処理構想見直し市町村作業マニュアル 平成27年3月」に基づき実施しています。

【見直しの主なポイント】

今までの構想は、公共下水道、合併浄化槽等の費用比較の結果を尊重し、長期的な視点からの污水处理施設の整備手法を設定していましたが、今回の見直しでは、中期及び長期で污水处理整備の完成を目標に整備手法を選定することを求められています。

2. 構想見直しの手順



3. 基本事項の設定

(1) 目標年次

本構想の目標年次は、千葉県が示す基本方針に基づき、
中期：平成 36 年、長期：平成 46 年としています。

(2) 将来行政人口

本構想の目標年次の行政人口は、千葉県が提示する国立
社会保障・人口問題研究所の予測値をもとに、千代田地区
の開発想定人口：1,600 人を平成 46 年度値に上乗せした人
口（H36：7,000 人、H46：8,000 人（≒7,600 人））を採用し
ています。

表 3-1 芝山町の将来行政人口

年度	芝山町行政人口 (採用値)	千葉県提示人口 (参考値)	備考
平成 26 年度 (実績)	7,643 人	-	
平成 36 年度	7,000 人	7,000 人	国立社会保障・人口問題研究所の 予測値をもとに千葉県が提示
平成 46 年度	7,600 人 ⇒8,000 人	6,000 人	千葉県の提示人口に千代田地区 の開発想定人口 1,600 人を追加

4. 整備済み区域の確認

芝山町で実施している公共下水道、農業集落排水による集合処理の整備状況は、次の表 4-1 に示すとおりとなっています。単独公共下水道（小池処理区）は、未整備区域が約 88.2ha 残されており、流域関連公共下水道（千代田処理分区）は、未着手となっています。また、農業集落排水は整備が完了しています。（区域は、図 4-1 参照）

表 4-1 集合処理区域の整備状況

処理区名 地区名	事業種別	既存構想 区域 (ha)	H26末 整備済面積 (ha)	H26末 未整備区域 (ha)
小池処理区	単独公共下水道	216.1	127.9	88.2
千代田処理分区	流域関連公共下水道	125.0	0.0	未着手
大台地区	農業集落排水	26.0	26.0	整備完了
山中地区	農業集落排水	36.0	36.0	整備完了

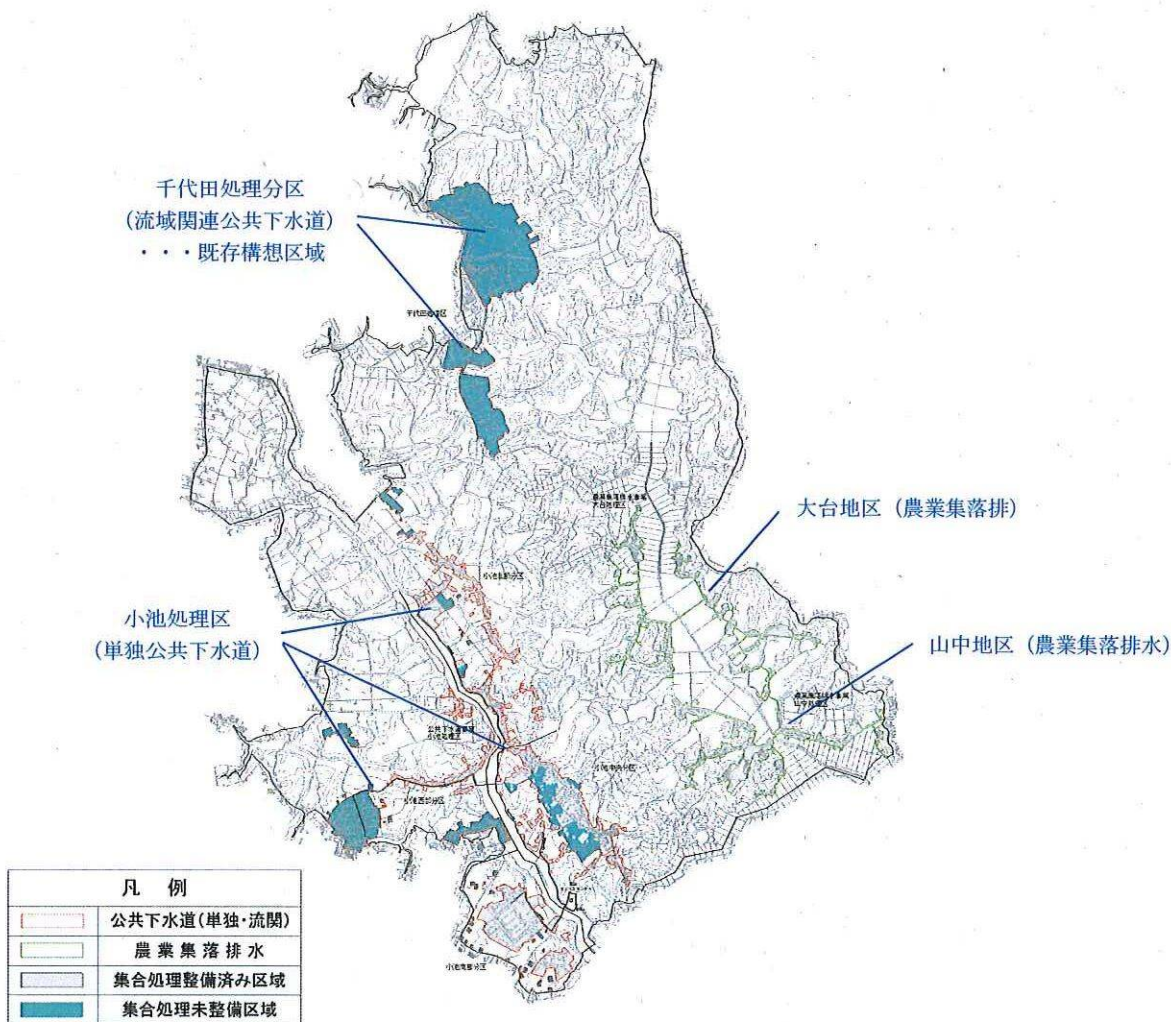


図 4-1 集合処理の整備状況

5. 未整備区域の整備手法・整備計画の検討

【未整備区域の整備方針】

今回の構想見直しでは、各污水处理施設の整備及び維持管理に関する費用比較の結果と早期整備完成を踏まえ、污水处理施設未整備区域について、次のとおり整備方針を設定しています。

- 既存構想のうち、合併処理浄化槽、農業集落排水施設による整備予定区域は、既構想の整備手法を継続する。
- 公共下水道（小池処理区）は、住民の了承を得ている区域及び家屋が存在しない区域については、縮小する方針とする。
- 流域関連公共下水道（千代田処理分区）は、成田国際空港の機能強化や開発事業に併せて公共下水道の整備を行う方針とする。なお、千代田処理分区の接続先は、経済性等を考慮し、千葉県印旛沼流域下水道から本町の単独公共下水道（小池処理区）に変更する方針とする。
- 空港南部工業団地は、現在工場側で排水処理を実施していることから、下水道区域に取り込まない方針とする。

【整備計画の考え方】

污水处理施設未整備区域の整備計画は、次の考え方で案を作成しています。

- 公共下水道は、平成 36 年度までに千代田地区以外の区域について整備が完了する予定としています。
- 千代田地区の公共下水道整備は、現時点で成田国際空港の機能強化や開発事業が具体化されていないことから、中期目標（平成 36 年）には位置付けず、長期目標（平成 46 年）に位置付けています。
- 合併処理浄化槽は、近年の実績を踏まえ、家の建て替えも含めて年間約 8 基の設置を予定しています。

6. 芝山町污水適正処理構想

以上の考え方で作成した「芝山町污水適正処理構想」は、次の表及び図に示すとおりとなっています。本構想の主な事項は、次のとおりです。

- 公共下水道区域（小池処理区）は、約 32ha 縮小し、合併処理浄化槽による整備に変更する方針です。
- 流域関連公共下水道の千代田処理分区（125ha）のうち、83ha を単独公共下水道（小池処理区）に接続し、その他の区域は、合併処理浄化槽とする方針です。
- 污水処理人口普及率は、現況（H26 年度末）の約 92% から概ね 10 年後（H36 年度末）に整備完了（100%）する目標としています。
- H37 年度以降は、開発想定区域である千代田地区の公共下水道整備を開発事業と並行して進めていくとともに、整備済み施設の老朽化対策を踏まえた適正な維持管理も目標とします。

表 6-1 整備手法別計画表

項目	処理区・地区名	単位	① 既存構想 (H36年値)	② 今回構想 (H46年値)	差分 (②-①)	備考	
計画区域	公共下水道(単独)	小池処理区	ha	216	267	51	千代田地区開発想定区域面積(83.0ha)を追加
	公共下水道(流開)	千代田処理分区	ha	125	0	-125	
	農業集落排水	大台地区	ha	26	26	-	
	農業集落排水	山中地区	ha	36	36	-	
	合併処理浄化槽	上記以外の地区	ha	3,944	3,995	+51	
	計(行政面積)		ha	4,347	4,324	-23	
計画人口	公共下水道(単独)	小池処理区	人	6,100	4,293	-1,807	千代田地区の開発想定人口1,600人を追加
	公共下水道(流開)	千代田処理分区	人	2,100	0	-2,100	
	農業集落排水	大台地区	人	666	384	-282	
	農業集落排水	山中地区	人	617	363	-254	
	合併処理浄化槽	上記以外の地区	人	517	2,560	2,043	
	計(行政人口)		人	10,000	7,600	-2,400	

表 6-2 整備計画（目標年次 H36 年）

項目	単位	① 現況 (H26年度末)	② 計画 (H36年度末)	差分 (②-①)	
整備面積	公共下水道	ha	128	184	+56
	農業集落排水	ha	62	62	0.0
	計(集合処理)	ha	190	246	+56
処理人口	公共下水道	人	1,522	2,751	+1,229
	農業集落排水	人	1,075	940	-135
	合併処理浄化槽	人	4,449	3,309	-1,140
	未処理	人	597	0	-597
計(行政人口)		人	7,643	7,000	-643
処理人口普及率	公共下水道	%	19.9	39.3	+19.4
	農業集落排水	%	14.1	13.4	-0.7
	合併処理浄化槽	%	58.2	47.3	-10.9
	計	%	92.2	100.0	+7.8